

2009年度決算について

◆決算概要

2009年度は、キリスト教学研究科の開設を始め、教室の整備・充実や、体育施設の整備など、学習教育環境の改善に一層取り組み、あわせて財政基盤の強化のための各種特定資産の充実など、予算編成時にあげた重点課題を積極的に推進しました。

教育研究面の整備については、2008年度に開設された異文化コミュニケーション学部を始めとする学部・学科および研究科や、2009年4月に開設されたキリスト教学研究科のスムーズな運営のための各種整備を行いました。また、組織的な取り組みとして教育活動の高度化を図るため、立教大学教育活動推進助成(立教GP)が制度化されました。さらに、アジアの知的協働に関する国際的な研究拠点形成を目指す研究所として、AIIC(the Asian Institute for Intellectual Collaboration アジアにおける知的協働と社会デザイン研究)を設立したほか、英語ディスカッション教育センターの設置、学外諸機関と協力したキャリア教育プログラムの実施や、授業評価アンケート・調査分析等を通じての教育改革・カリキュラムの改善を進めました。さらに、リサーチ・イニシアティブセンターを中心に、現在進行中の研究プロジェクトのマネジメント支援のほか、新たなプロジェクト型研究の創出や外部資金の獲得、産学連携・地域連携の強化など、総合的な研究活動支援を実施しました。

施設整備面では、立教大学総合発展計画に基づく複合棟2(仮称)の建設が進められたほか、7号館B棟が完成し、さらに課外体育施設等の整備も行われ、一層のキャンパス環境の改善・充実に取り組みました。

財政基盤強化策では、継続的に部署毎に業務の見直しを実施し、業務の委託化・アウトソーシング化など経費節減策に努めました。また、受託事業や各種補助金の獲得を積極的に行い、外部資金獲得を推進するとともに、本学が持続的に発展していくために必要な各種引当特定資産や基金への継続的な積み増しを行いました。

◆消費収支計算書の概要

《消費収入の部》

1. 学生生徒等納付金

学生生徒等納付金は、新研究科の設置や新学部・学科等の学生数が学年進行に伴い増加したことにより、前年度比で12億5,000万円、予算比では1億7,000万円増の212億200万円となりました。帰属収入全体に占める学生生徒等納付金の割合は、前年度に比べ2.4ポイント増加し77.5%となりました。

2. 手数料

入学検定料が主な項目の手数料は、前年度比で1,000万円、予算比では2億9,000万円増の21億9,300万円となりました。

3. 補助金

補助金は、国庫補助金において予算比6億5,400万円の増、全体では前年度比5億4,800万円増加し、26億9,500万円となりました。

4. 資産運用収入

資産運用収入は、立教学院本部(以下、学院本部)で行っている合同運用の効果により、前年度比850万円、予算比3,500万円増の2億7,700万円となりました。

5. 事業収入

事業収入は、リサーチ・イニシアティブセンターを中心にした産学官連携への積極的な取り組みから受託事業収入が増加し、全体として前年度比3,600万円の増加、予算比では5,600万円増の2億7,100万円となりました。

6. 雑収入

雑収入は、前年度比において、入試要項頒布料収入・私立大学退職金財団交付金収入・研究関連収入等が減少し、全体として5,500万円の減少、予算比では7,800万円減の4億7,000万円となりました。

7. 帰属収入

この結果、帰属収入は予算比で12億900万円増の273億4,800万円となりました。また、これより基本金組入額27億1,500万円を差し引いた消費収入は、予算比30億8,700万円増の246億3,300万円となりました。

2009年度 消費収支計算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位:千円、%)

	予 算		決 算		差異(Δ印超過)
	金 額	(構成比率)	金 額	(構成比率)	
消費収入の部	21,032,229	(80.5)	21,202,007	(77.5)	Δ 169,778
学生生徒等納付金	21,032,229	(80.5)	21,202,007	(77.5)	Δ 169,778
手数料	1,902,790	(7.3)	2,193,200	(8.0)	Δ 290,410
寄付金	63,755	(0.2)	166,814	(0.6)	Δ 103,059
補助金	2,041,209	(7.8)	2,694,746	(9.9)	Δ 653,537
資産運用収入	242,590	(0.9)	277,153	(1.0)	Δ 34,563
事業収入	214,951	(0.8)	271,030	(1.0)	Δ 56,079
雑収入	547,381	(2.1)	469,739	(1.7)	77,642
他会計からの繰入収入	93,966	(0.4)	73,030	(0.3)	20,936
帰属収入合計	26,138,871	(100.0)	27,347,720	(100.0)	Δ 1,208,849
基本金組入額合計	Δ 4,593,516	(Δ 17.6)	Δ 2,714,992	(Δ 9.9)	Δ 1,878,524
消費収入の部合計	21,545,355	(82.4)	24,632,728	(90.1)	Δ 3,087,373
消費支出の部	13,535,538	(51.8)	13,194,249	(48.2)	341,289
教育研究経費	10,120,824	(38.7)	8,855,542	(32.4)	1,265,282
管理経費	1,915,100	(7.3)	1,814,316	(6.6)	100,784
他会計への繰入支出	4,231	(0.0)	431,745	(1.6)	Δ 427,514
借入金等利息	37,289	(0.1)	37,290	(0.1)	Δ 1
資産処分差額	95,738	(0.4)	89,043	(0.3)	6,695
徴収不能引当金繰入額等	3,645	(0.0)	3,715	(0.0)	Δ 70
予備費	346,845	(1.3)	—	(—)	346,845
消費支出の部合計	26,059,210	(99.7)	24,425,900	(89.3)	1,633,310
当年度消費支出超過額	4,513,855	(17.3)	—	(—)	—
当年度消費収入超過額	—	(—)	206,828	(0.8)	—
前年度繰越消費支出超過額	3,651,857	(14.0)	3,651,857	(13.4)	—
前年度繰越消費収入超過額	—	(—)	—	(—)	—
翌年度繰越消費支出超過額	8,165,712	(31.2)	3,445,029	(12.6)	—

※構成比率は、帰属収入合計を100とした各項目の割合を表しています。

《消費支出の部》

1. 人件費

人件費は、職員人件費で予算比2,500万円増となりましたが、教員人件費が予算見込みより1億2,800万円減少し、退職給与引当金繰入額も予算比で2億3,800万円減少したことから、人件費全体では予算比3億4,100万円減の131億9,400万円となりました。

2. 教育研究経費

教育研究経費は、新研究科の設置、複合棟2(仮称)の建設をはじめ、池袋・新座両キャンパスにおける無線LAN環境の整備、課外体育施設等の整備のほか、研究環境の充実と地域・産学連携や国際連携の拡大など、様々な施策や活動に取り組んできた結果、前年度比では8億2,000万円の増加となりました。ただし、総合発展計画の建設関連資金の支払いが次年度以降へ変更になったことや従来より推進している経費節減努力、業務の効率化の結果、予算比では12億6,500万円減の88億5,600万円となりました。

3. 消費支出

消費支出合計では、予算比16億3,300万円減の244億2,600万円となりました。この結果、消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費収支差額は2億700万円の収入超過となりました。

◆資金収支計算書の概要

消費収支計算書と重複するものについては説明を省略し、資金収支計算書特有の内容について説明します。

《資金収入の部》

1. 借入金等収入

総合発展計画の建設資金として50億円の借入を予定していましたが、計画の一部変更により、7号館B棟および複合棟2(仮称)の建設資金として25億8,000万円を借り入れました。

2. 前受金収入

前受金収入は、ほぼ予算通り(前年度比1,400万円増)の56億500万円となりました。

3. その他の収入

その他の収入では、前期末未収入金や貸付金回収収入が予算より増加しましたが、支払資金としての運営資金特定資産の回収が予算より下回ったことから、全体として予算比29億600万円減となりました。(立教大学では資産の効率的な運用管理を図るため、学院本部で資産の合同運用を行っています。このため各種支払を行う際には学院本部から大学へと資金を戻して支払いを行うことから『その他の収入』に計上し、一方、大学から学院本部に資金を預ける際には『その他の支出』として計上しています。)

《資金支出の部》

1. 施設・設備関係支出

施設・設備関係の支出では、複合棟2(仮称)の建設や、各種課外体育施設の充実、新しい情報機器の導入等を進めたことから、前年度比6億7,100万円増の31億400万円となりました。

2. その他の支出

その他の支出において、教育・研究支援のために各種引当特定資産に積み増しを行いました。また、奨学基金である第3号基本金に7,000万円を積み増したほか、課外体育施設充実のための引当特定資産に1億2,000万円の積み増しを行いました。

3. 次年度繰越支払資金

次年度繰越支払資金は、学院本部預け金である運営資金引当特定資産を加算し実質的な次年度繰越支払資金を算出すると、前年度比4億4,000万円減の120億1,000万円となりました。



2009年度 資金収支計算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位:千円)

		予 算	決 算	差異(△印超過)
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	21,032,229	21,202,007	△ 169,778
	手数料収入	1,902,790	2,193,200	△ 290,410
	寄付金収入	63,755	120,753	△ 56,998
	補助金収入	2,041,209	2,694,746	△ 653,537
	資産運用収入	242,590	277,153	△ 34,563
	專業収入	214,951	271,031	△ 56,080
	雑収入	547,381	461,227	86,154
	他会計からの繰入収入	93,966	73,030	20,936
	借入金等収入	5,000,000	2,580,000	2,420,000
	前受金収入	5,596,689	5,605,270	△ 8,581
	その他の収入	29,546,876	26,640,468	2,906,408
	資金収入調整勘定	△ 6,290,858	△ 6,154,350	△ 136,508
	前年度繰越支払資金	1,305,345	1,305,345	-
収入の部合計	61,296,923	57,269,881	4,027,042	
支 出 の 部	人件費支出	13,959,019	13,672,332	286,687
	教育研究経費支出	8,306,091	6,988,456	1,317,635
	管理経費支出	1,864,029	1,762,962	101,067
	他会計への繰入支出	4,231	431,745	△ 427,514
	借入金等利息支出	37,289	37,290	△ 1
	借入金等返済支出	1,138,590	1,138,590	0
	施設関係支出	4,983,551	2,380,248	2,603,303
	設備関係支出	573,969	723,924	△ 149,955
	その他の支出	30,052,178	29,573,095	479,083
	予備費	270,769	-	270,769
	資金支出調整勘定	△ 649,229	△ 975,373	326,144
	次年度繰越支払資金	756,436	1,536,612	△ 780,176
支出の部合計	61,296,923	57,269,881	4,027,042	

◆貸借対照表の概要

1. 有形固定資産

建物、構築物については、減価償却により、合計で5億5,100万円減少しました。

2. その他の固定資産・流動資産

その他の固定資産では、減価償却引当資産に3億5,000万円、退職給与引当特定資産に3億円、第3号基本金引当特定資産に7,000万円、建設資金引当特定資産に25億3,000万円積み増したほか、運営資金引当特定資産が6億7,000万円減少し、合計で引当特定資産及び第3号引当資産は29億5,200万円増加しました。

3. 負債の部

借入金については、長期借入金が増加したため、負債合計で15億1,600万円の増加となりました。

4. その他

資産総額は、基本金の増加分 26億5,200万円、負債の増加分 15億1,600万円の消費収支差額の増加分(当年度消費収入超過額) 2億700万円を加えて、合計で前年度より43億7,400万円増加の734億9,800万円となりました。

《 竣工した7号館B棟 》



2009年度 貸借対照表

(2010年3月31日)

(単位：千円)

	2009年度末	2008年度末	増減
資産の部			
固定資産	71,346,173	67,340,041	4,006,132
有形固定資産	40,802,491	39,713,002	1,089,489
土地	2,906,758	2,685,231	221,527
建物・構築物	26,322,128	26,873,167	△ 551,039
機器備品	1,987,054	1,932,868	54,186
図書	8,442,995	8,202,643	240,352
車輛	704	1,407	△ 703
船舶・舟艇	10,277	4,546	5,731
建設仮勘定	1,132,575	13,140	1,119,435
その他の固定資産	30,543,683	27,627,039	2,916,644
長期貸付金	117,093	158,428	△ 41,335
諸引当特定資産	30,408,311	27,456,523	2,951,788
その他	18,279	12,088	6,191
流動資産	2,151,490	1,783,374	368,116
現金預金	1,536,612	1,305,345	231,267
未収入金	563,101	441,137	121,964
その他	51,777	36,892	14,885
資産の部合計	73,497,663	69,123,415	4,374,248
負債の部			
固定負債	7,100,565	5,137,238	1,963,327
長期借入金	3,937,830	1,496,420	2,441,410
退職給与引当金	3,162,735	3,640,818	△ 478,083
流動負債	6,954,834	7,402,531	△ 447,697
短期借入金	138,590	1,138,590	△ 1,000,000
前受金	5,605,270	5,591,250	14,020
その他	1,210,974	672,691	538,283
負債の部合計	14,055,399	12,539,769	1,515,630
基本金の部合計	62,887,293	60,235,504	2,651,789
消費収支差額の部	△ 3,445,029	△ 3,651,858	206,829
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計	73,497,663	69,123,415	4,374,248